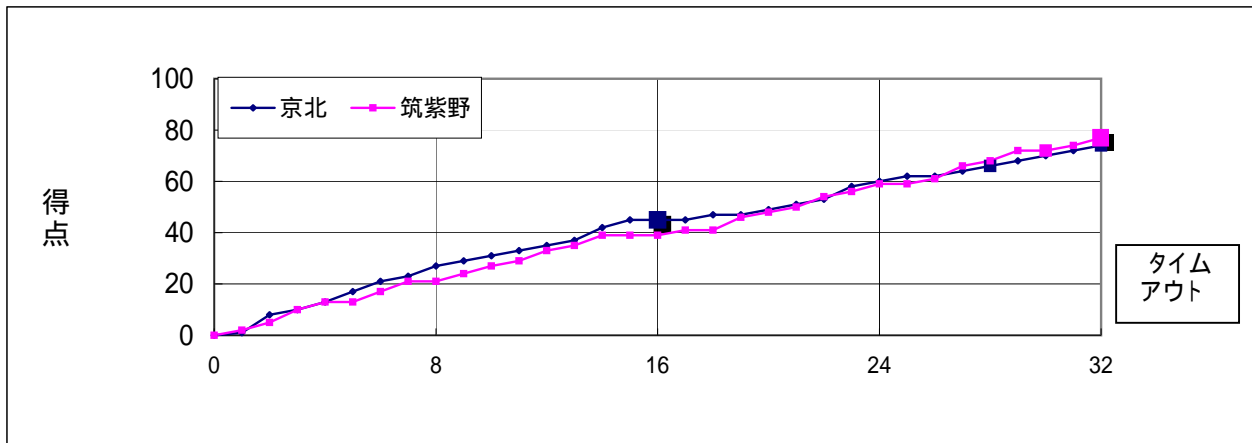


試合区分	3日目	男子準決勝	3GD2															
期日	2010年(平成22年)8月25日(水)		10:50															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	京北 74 (東京)	<table border="1"> <tr><td>27</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	27	-	21	18	-	18	15	-	20	14	-	18	-	-	-	77 筑紫野 (福岡)
27	-	21																
18	-	18																
15	-	20																
14	-	18																
-	-	-																
審判	主審 玉木 彰治	副審 中村 浩仁																



京北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 新川 敬大 (C)	25	0	10	5	1
5	* 川久保 駿	0	0	0	0	1
6	安保 友貴	-	-	-	-	-
7	* 石原 卓	12	2	2	2	1
8	小林 耀	2	0	1	0	1
9	* 吉川 治耀	23	3	7	0	0
10	福本 哲也	6	0	3	0	3
11	* 斉藤 孝幸	6	0	3	0	0
12	沼田 優樹	-	-	-	-	-
13	佐藤 涼	-	-	-	-	-
14	岡田 大貴	0	0	0	0	2
15	安倍 崇道	-	-	-	-	-
16	棟方 啓介	-	-	-	-	-
17	天利 優介	-	-	-	-	-
18	玉城 啓太	-	-	-	-	-
コーチ	田渡 優					
合計		74	5	26	7	9

筑紫野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 帯刀 滉暉 (C)	23	6	1	3	0
5	* 砥綿 啓伍	11	1	4	0	0
6	* 野中 亮吾	27	0	13	1	1
7	* 中村 文紀	4	0	2	0	3
8	添田 拓斗	-	-	-	-	-
9	原田 成斗	-	-	-	-	-
10	鐘江 啓斗	-	-	-	-	-
11	市川 恭平	-	-	-	-	-
12	* 濱田 健太	12	0	6	0	3
13	安藤 琢郎	0	0	0	0	1
14	瀬戸 洸平	-	-	-	-	-
15	田代 浩太郎	-	-	-	-	-
16	久松 龍孔	-	-	-	-	-
17	榊 洸哉	-	-	-	-	-
18	野中 貴仁	-	-	-	-	-
コーチ	帯刀 三寛					
合計		77	7	26	4	8

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

大会2連覇を目指す関東ブロック代表京北と、九州ブロック代表筑紫野の準決勝が始まる。筑紫野は2-3のゾーンDef、京北は2-1-2のゾーンとマンツーマンのチェンジングDefで対応。筑紫野#4が2本の3P、#6の速いドリブルからのミドルシュートを決める。京北は#9のミドルシュート、3Pが決まり、リバウンドを制した#4がゴール下で決める。一進一退の攻防が繰り広げられ1Q27-21で終了。2Qに入り、筑紫野#4の3Pが連続で決まり差を詰める。4分過ぎたところで同点に追いつく。京北も#9の連続3Pで突き放す。筑紫野#6もドライブインでシュートを決めるなど食い下がり、前半を45-39で折り返した。

3Qに入り筑紫野は#6のドライブインや#4の3Pで追いつく。対する京北も入れられると入れ返し、シーソーゲームが展開。見る者を魅了するパスワークにDef力、シュート力。お互いの力が拮抗した好ゲームである。60-59の1点差で3Qを終了。4Qでも一進一退のシーソーゲームが続く。4分過ぎ京北がたまたまタイムアウト。しかし筑紫野#5、#6の連続シュートで追い付き、逆転。流れが筑紫野に傾く。京北はゴール下のシュートがなかなか決まらない。残り30秒で京北#4がオフェンスファウルで京北タイムアウト。この時点で筑紫野4点リード。点が入る度に観客の歓声と落胆の声が入り混じる中、筑紫野が3点差をつけ74-77で勝利の雄叫びを上げ、初の決勝戦へ駒を進める。

記載者 片山 新 (所属) 広島